

平成27年度事業者主導型リスクコミュニケーション事業実施結果 【 仙台小林製薬株式会社 】

宮城県環境生活部環境対策課

1 はじめに

化学物質は、私たちが日常生活をおくる上で必要不可欠な存在ですが、一方で、環境中の化学物質が人や動植物に悪影響を及ぼすレベルにならないよう適切な管理や取扱いを行われなければなりません。

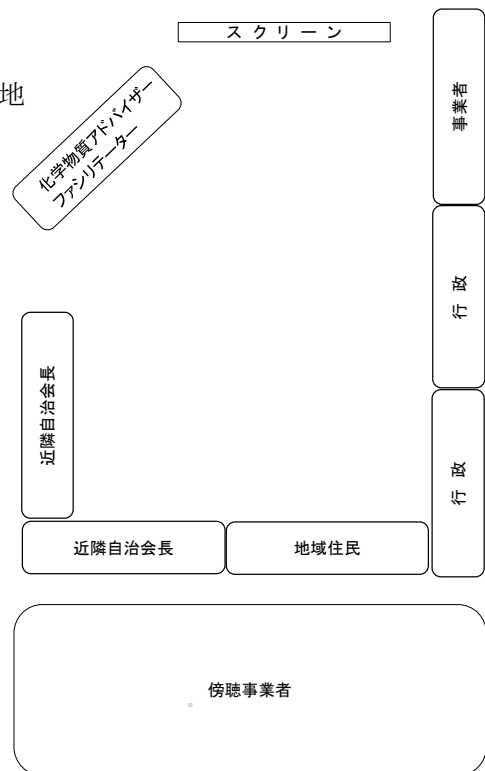
事業者による自主的な化学物質の排出削減や適正管理も重要ですが、より合理的に環境リスクを管理し削減するためには、事業者、地域住民、行政が化学物質等に関する情報を共有し、意見交換を通じて意思疎通と相互理解を図る「リスクコミュニケーション」の取り組みが有効です。

一昨年度から、事業者主導型リスクコミュニケーションとして、事業者の意向をより反映した事業へとシフトしており、今年度は仙台小林製薬株式会社で開催しました。

2 開催概要

- (1) 事業者 仙台小林製薬株式会社
所在地：黒川郡大和町松坂平3丁目4番地
- (2) 日時 平成28年3月9日(水)
午後2時から午後4時15分まで

- 3 出席者 合計 31名
- (1) 参加者 計 19名
- 地域住民代表者 9名
 - 事業者 3名
 - 大和町 1名
 - 宮城県 4名
 - 化学物質アドバイザー 1名
 - ファシリテーター 1名
- (2) 傍聴者(県内事業者) 12名



<会場設置図>

4 プログラム

【司会：ファシリテーター】

- (1) 開 会
- (2) リスクコミュニケーション事業説明 (宮城県)
- (3) 化学物質セミナー (化学物質アドバイザー)
- (4) 企業紹介 (仙台小林製薬株式会社)
- (5) 環境への取り組み (仙台小林製薬株式会社)
- (6) 工場見学 (仙台小林製薬株式会社)
- (7) 意見交換会 (進行：ファシリテーター)
- (8) 閉 会

5 意見交換会の概要

住民代表者からの質問や意見に対する回答は、次のとおりでした。

(1) 会社としての地元への協力のスタンスと社員の意識は一致していますか？

【事業者】

会社として大和町役場、大和警察署等との協力の体制はあります。まほろば祭りなどの催事への参加もしており。地域住民との協力体制はあると感じています。また、社員の意識も会社と一致しています。

(2) 香料の原料は何？何色・何種類くらいあるの？

【事業者】

香料自体は弊社で製造しているものではなく、全て業者から購入しています。色や種類については多種多様で、その中から必要なものを選んで購入します。その際に SDS*が交付されるので、そこから安全性を判断したうえで使用するようになっています。

【ファシリテーター】

→使用の仕方としてはこれでいいのでしょうか。化学物質アドバイザーに聞いてみましょう。

【化学物質アドバイザー】

→SDS を使って安全性を判断してから使用しているということですので、問題無いと思います。

(3) 住民と事業者の相互にとってリスクとなることは？

【事業者】

工場からのリスクというと、漏洩事故が思いあたります。過去には別の工場で輸送車両が事故を起こしてタンクから洗剤が流出したという事故もありました。

【住民】

→私は農家をやっているが、繁忙期に臨時で人を雇おうと思っても工場の仕事があるのでなかなか人が見つからないということがあつた。経済的な面もあるので、しょうがないとは思っていますが、そういった雇用の面でのリスクもあるかと思つた。

【ファシリテーター】

→これについては、大和町や県の方もこういう意見もあるんだということで受け止めておいてもらえればと思います。

(4) 会社としてリスクを最大限ゼロに近づけるように工夫・教育等されているのだと思いますが、過去にこの工業団地でも洗剤の原液が流出したという事故がありましたので、会社として様々なリスクをどのように管理しているか教えていただきたい。

【事業者】

原料の工場内から外部への漏出という点では、水門や雨水の排水経路を応急的に閉鎖できるようなハード的な対策をしております。また、毎年遮断訓練というものをやっております、万が一原料が漏れた場合でも外部には出さないという対応ができるようにしております。

(5) 工場で使用している水は何の水を使用しているのですか？

【事業者】

使用している水は工業用水と水道水です。医薬品に使用しているのは水道水ですが、水道水の中には塩素などが含まれていますので、さらに浄化して製品に使用しています。もちろん使用する前には検査をして本当に浄化されているか確認したうえで使用しています。

(6) 工業団地内には調整池がありますが、そこに排水しているのですか？

【事業者】

調整池に排水は流していません。排水は全部下水道を経由して終末処理場に行きます。ただし、雨水は調整池に出ていきますので、路面に原料等がこぼれていますと、調整池に入ってしまうので、そういったことがないようにしています。

(7) 化学物質の規制がかかるものがありますよね、これは規制の範囲内であれば基準一杯まで使って良いと解釈してよろしいですか？

【化学物質アドバイザー】

規制値があるものについては、国で規制値を決めるにあたって、これ以下ならば影響がないと考えられるという値にさらに安全率をかけていますので、問題無いと考えて差し支え無いと思います。

(8) 地元と事業者で一緒に交差点改良などを町や警察署に要望していきたいと考えているのですが、そういった情報があれば教えていただきたいと思います。

【事業者】

工業団地に立地している企業の集まりがありまして、その集まりを通じて信号の設置などを町や警察に要望するという事は既にやっております。地元の皆様の考えと考えが一致する部分がありましたら、一緒に要望するという事は可能かと思えます。

(9) 小林製薬さんの工場は良い香りなんですけど、住民が 100%良い香りという風に感じる訳では無くて、人によっては目に見えないにおいがこわいという印象を持つ方もいらっしゃると思いますので、においに関する取組で何かありましたら教えていただきたいと思います。

【事業者】

正直なところを申しますと仙台小林製薬は、工業団地の一番奥で住民から一番遠いところに建てた経緯もあり、これまで臭いに関してはあまり取り組んでいませんでした。ただし、20年前とは環境や環境への意識が変わってきていますので、小林製薬グループのトップも臭いに関しては、取り組んでいかなければならないと言っています、これから会社として取り組んでいこうという状況です。

(10) 工場排水の水質の検査態勢はどのようになっていますか？第三者の検査は実施されているのでしょうか？

【事業者】

大和町の上下水道課の方で排水を採水しまして、大和町から検査機関へ出してその結果をフィードバックしてもらっています。社内的には大和町の検査とは別に毎週検査機関に出してその結果を管理しています。また、社内でも pH などの項目は日々チェックしているところです。第三者の検査というところではその大和町の検査があたるかと思えます。

【住民】

→検査結果が出る前から排水を流しているということですか？

【事業者】

→常に社内での検査はしております。

【化学物質アドバイザー】

→一般的なお話をさせていただくと、分析にかかる期間というものもありますので、毎日排水をチェックしてから流すというのはなかなか出来ないというところです。排水量や規模によっても違いますが、1カ月とか半年に1回定期的に検査するというところが多いです。採水して検査機関に出すと、計量証明書というものが発行されますので、そこで基準を満たしていれば排水基準以下のものが出ていると判断します。

※SDS (Safety Data Sheet : 安全データシート) : 化学物質の性状及び取扱いに関する情報が記載された書類。「第一種指定化学物質、第二種指定化学物質及びそれらを含有する製品 (指定化学物質等)」を他の事業者へ譲渡・提供する際に交付が義務付けられている。

6 実施の様子



<会場>



<化学物質アドバイザーによる講演>



<工場からの紹介>



<意見交換会>

7 事業者主導型リスクコミュニケーション事業を実施した感想【仙台小林製薬株式会社】

今回、リスクコミュニケーション交流会を開催するにあたり、普段の工場見学とのちがいに、ファシリテーターやアドバイザーの方とも相談して、多くのアドバイスをいただくことができました。住民の方々が感じておられることに応えられるように、環境教育として従業員向けに作成した資料を使用したり、ありのままの話ができたのは良かったと思います。

また、住民の方のお話を直接聞くことができ、不安に感じておられることなどを肌身を通して感じる事ができて、良い機会でした。今後の地域活動への参考にもさせていただきたいと考えております。

今後の工夫として、住民の方々が知りたいことに耳を傾け、より分かりやすい絵や図などを用いていくことや、行政ともより連携を強めて、住民の方々に安心していただけるように、取り組んでいきます。

↓小林製薬グループの環境報告書

<http://www.kobayashi.co.jp/contribution/report/>

8 協力

事業の開催に当たっては、化学物質アドバイザー派遣事業事務局の御協力をいただき、化学物質アドバイザー及びファシリテーターの派遣を受けて開催されました。